

低カリウム血症に対する高濃度カリウム製剤の使用について【情報公開】

【概要】

当院では、患者さんの安全を最優先に、承認された医薬品であっても、特定の病気や治療状況に応じて、添付文書に書かれた使い方とは異なる方法で使用することがあります。このような使用方法を「適応外使用」と呼びます。

今回、速やかに治療が必要な低カリウム血症の患者さんに対し、高濃度のカリウム製剤を使って血液中のカリウム値を整える治療を行うことを、当院の医療安全管理部 医薬品安全管理部門で承認いたしました。

本治療については同意に代えて情報公開という形でお知らせいたします（オプトアウト方式）。

【医療の内容】

1. 使用する薬剤

KCL 注 20mEq キット（塩化カリウム）

アスパラギン酸カリウム注 10mEq キット（L-アスパラギン酸カリウム）

2. 使用の目的

血液中のカリウムが少ない状態（低カリウム血症）になると、心臓の動きが不安定になり（不整脈）、重症の場合は心停止を起こすことがあります。これらを防ぐために、血液中のカリウム濃度を適切な範囲に戻すことを目的として使用します。

3. 通常の使用法（添付文書に記載された方法）

- ・濃度：40mEq/L 以下の濃度で使用します。
- ・投与速度：1 時間あたり 20mEq を超えない速度で点滴します。
- ・1 日の投与量：100mEq まで。

この方法では安全性が高い一方、投与する水分量が多くなるため、重症の方や水分制限が必要な方では十分な補充ができない場合があります。

4. 今回の使用法（適応外使用）

- ・濃度：200～400mEq/L の濃度で使用します。
- ・投与経路：中心静脈（太い血管）からシリンジポンプ（微量の薬剤を精密に持続注入するための医療機器）を使って少しずつ投与します。
- ・投与速度：1 時間あたり 20mEq を超えない速度で点滴します。
- ・対象患者：低カリウム血症であり、通常の方法では十分なカリウム補充が行えない患者さん。

【期待される効果】

- ・血液中のカリウム値を適正に戻し、心臓の不整脈やその他の有害事象を防ぎます。
- ・適切な補充により、手術中や重症患者さんの全身状態を安定させることが期待されます。

【予想される不利益と安全対策】

- ・投与により、血液中のカリウムが高くなりすぎて、不整脈や心停止を起こすことがあります。

これらを防ぐために、投与前後に血液検査でカリウム値を確認し、投与中は常に心電図モニターで心臓の動きを監視します。異常が確認された場合は、すぐに投与を中止または減量します。

【治療の位置づけ】

この治療は、医師が医学的に必要と判断した場合にのみ行われます。医療安全管理部の承認を受け、担当医師の責任のもとで実施します。

この治療を希望されない場合やご質問がある場合は、下記までご連絡ください。申し出をされた場合でも、他の適切な治療が選択され、診療上の不利益を受けることはありません。

【費用および補償】

- ・この治療は通常の保険診療の範囲で行われます。したがって、一定割合の患者負担が生じます。
- ・適応外使用による副作用などが生じた場合、原則として「医薬品副作用被害救済制度」の対象外となります。

【問い合わせ先】

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮 185-1
高知大学医学部附属病院 薬剤部
(担当部署：医療安全管理部 医薬品安全管理部門)
電話：088-866-5811(病院代表)

【承認情報】

- ・承認者：医療安全管理部 医薬品安全管理部門長
- ・承認日：2026年3月31日
- ・実施責任診療科：麻酔科
- ・使用期間：承認日から見直しが必要となるまで

【備考】

この情報公開は、患者さんの安全と権利を守るために行っています。ご不安やご不明な点がある場合は、遠慮なく担当医師、または上記の問い合わせ先までお尋ねください。